

# ばわわ 16号

## ばわわとは？

**ばわ** 天白を元気にする力(パワー)  
**わ** 地域をつなげる輪(わ)と和める(わ)たまり場づくり

そんな思いがひとつになって  
**ばわわ**と名づけました!

発行 社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会  
 情報紙「ばわわ」プロジェクト  
 〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目301  
 原ターミナルビル3階  
 TEL:052-809-5550 FAX:052-809-5551  
 E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp  
 http://www.tenpaku-shakyo.com  
 編集 株式会社リベルタ  
 〒468-0011 名古屋市天白区平針2-1111 A2ビル207号  
 TEL:052-808-0429 FAX:052-808-0421  
 E-mail:libertad@mbp.nifty.com

情報紙「ばわわ」へのご意見、ご感想も  
 はがき・FAX・メールにて受け付けています。

視覚障がいその他の理由で活字のまま読むことの困難な人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大図書」等の製作をすることを認めます。



春は旅立ちの季節。  
 今までとは違う環境に身を置き、  
 新しいことにチャレンジする人も  
 多いのではないのでしょうか。  
 今号は「旅立ち」をテーマにお届けします。

## 第二の青春、マジックとともににはじめませんか？

「千種マジック愛好会」代表  
 「天白区文化協会」会長  
 よこやま としあき  
**横山 敏明さん**

いけだ よしこ  
**池田 淑子さん**

「千種マジック愛好会」ではメンバーを募集しています。  
 経験がなくてもマジックに興味のある方はぜひ定例会(千種生涯学習センター)の見学にお越しください。  
 問合せ先:横山 敏明 TEL/FAX:833-0722  
 E-mail: yokoyama-toshiaki@violet.plala.or.jp  
 http://www.actim.co.jp/magic/index.html

カードやコインを自由自在に操り、見る人を驚きの世界に引き込むマジック。あなたもそのテクニックを習得して、多くの人を楽しませてみたいと思いませんか？今回は、10年以上にわたりマジックを披露するだけでなく、普及にも努めてきた「千種マジック愛好会」を紹介します。

千種マジック愛好会は、1995年にプロマジシャンの指導の元で行われた講習会をきっかけに結成されました。天白区在住の横山さんを中心に、およそ20名のメンバーがマジックの技を磨き、名古屋市全域とその近郊の高齢者福祉施設や小学校、病院などで披露しています。月2回行われる定例会では、毎日のように舞い込む出演依頼に対して、2~3人の出演者を決めます。1日に2件以上の依頼が入ることもあり、その人気の程がうかがえます。出演者が決まると次はマジックの講習。横山さんと、同じくベテランの池田さんが技を披露すると、メンバーは感嘆の声をあげながら熱心

にその手法を学びます。  
**見る人に楽しんでもらうことが喜び**

マジックは技だけでなく、お客さんとのコミュニケーションも重要。横山さんも池田さんも、巧みな話術でその場を和ませ、マジックの世界へと引き込んでいきます。「マジックを見て怒る人はいません。だまされているのに、楽しんでくれるんですよ」と横山さん。マジックの魅力を知ると、メンバーの皆さんは「人に喜んでもらうこと」と口を揃えます。中には孫が喜んでくれたことがきっかけで、本格的に取り組み始めた人もいます。

### 生きがいづくりと仲間づくり

会のメンバーの年齢は30~70代と幅広いですが、舞台の出演が平日の昼間に集中しているため、主婦や定年退職した男性が主力となっています。中には脳梗塞後のリハビリとしてマジックに取り組んでいる人もいます。「人前で話すなんて…」「自分は不器用だから…」と初めは尻込み

していても、一度舞台でお客さんに喜んでもらう経験をすると、すっかりマジックの虜になってしまうようです。「私も初めは口ベタでしたが、マジックを見たお客さんが『えーっ、どうして?』と不思議がる様子がうれしくて、これまで続けてきました」と池田さん。マジックを通じて同じ興味をもつ仲間と知り合い、交流の輪を広げることも魅力のひとつです。あなたもマジックで人生をより輝かせてみませんか？



ここは昭和30年代に撮影された天白区内のある場所です。さあ、どこか分かるかな?答えはP.3です。(出典:「名古屋いまむかしシリーズ<2>昭和・瑞穂・天白編」株式会社郷土出版社)





## 中高年中途障がい者の生きがいづくりを応援する

### 遊遊(ユウユウ)の会

脳梗塞や脳出血などが原因で身体に障がいをもった人たちが集う「遊遊の会」。平成13年にボランティアの浅沼さんが中心となって結成しました。「障がい者はどうしても家に引きこもりがちです。そのよ



バスツアーで岡崎へ

うな人たちの仲間づくりの場になればとの想いではじめました」と浅沼さん。発足以来、毎月様々なイベントを企画。メンバーが「～したい」気持ちを表現することを重視し、音楽コンサートを聴きに行ったり、食事会をしたり、運動をしたりと積極的に活動しています。そのモットーは会の名前が表すように「遊ぶ」。自分の足で出かけ、仲間と言葉を交わすことがリハビリの要素を含むと同時に、みんなと楽しく時を過ごすことで、障がいをもっても前向きで明るい日々を積み重ねています。数あるイベントの中でも人気があるのは旅行。年に4回程、バスを借り切って日帰りや一泊の旅を楽しんでいます。これまでも県内だけでなく、琵琶湖や浜松まで足をのばしました。旅行を手配する吉村さんは、障がいをもつ奥様と二人で国内だけでなく海外にも頻繁に出かけてい

ます。その経験を生かして、障がい者に考慮した旅のスケジュールを考えます。「こうした障がいをもつ可能性は自分にも十分あると思うので、相手を介助する場合にも自分だったらどうしてほしいだろうかと置き換えて考えています」と、常に相手の立場に寄り添う吉村さん。会の活動を報告するニュースを手作りするなど、会を支えてきました。脳血管障害という、予期せぬ病で障がいをもったメンバーの皆さん。当初の戸惑いや苦悩は察するに余りありますが、地道なりハビリを続ける中で「遊遊の会」と出会い、生きる希望を再び見いだしてきたようです。現在メンバーは30名程。その前向きな気持ちが会の原動力となっているようです。



定例会で和やかに談笑するメンバー

### メイドイン★天白

#### 懐かしい郷土の味「おこしもん」を販売する「米穀島田販売所」

米粉を熱湯で練って蒸し上げる「おこしもん」は、素朴な味わいの郷土のお菓子。この味わいを製造・販売するのが、米穀島田販売所です。「ひな祭りを中心に、時節の行事の時に買って



木型により、タイやツル、カメなどさまざまな形ができます。5個400円

ているのが、米穀島田販売所です。「ひな祭りを中心に、時節の行事の時に買っていただいています」と、主人の尾関鉄夫さんは言います。「昔はどの家庭でも、お祝いの時に作っていたものですが、今は珍しくなりました。その伝統を

私たちが守っています」と、奥様のまつ子さん。取材のためにその工程を実演してくれました。型取りの作業を本紙編集委員も体験。深く溝が彫り込まれた木型へ均等に米粉を詰めるのが難しく悪戦苦闘。その後、蒸し器で約25分ほど蒸し上げました。そのままでも、焼いて醤油に付けてもおいしく、冷凍すれば日持ちもします。ピーク時には1日に1,000個作ることもあるそうです。



島田バス停から徒歩約3分

営業時間：午前9時～午後7時  
定休日：日曜日  
住所：天白区島田4-2108  
TEL：801-0852



### この指とまれ！ ボラン・ティ・ア・情・報

#### ■天白図書館からのお知らせ：誰でもできる点字教室(4回連続講座)

「点字」は、目の不自由な方の情報伝達手段として、大きな役割を果たしています。わずか6点の組み合わせで、五十音だけではなく、英語も数字も表現できる「点字」。この「点字」の秘密と一緒に勉強しませんか？天白図書館では、今年で21回目の点字教室を開催いたします。楽しい絵本づくりなども用意しております。「点字」にふれてみたいという方、初めて学ぶという方、ぜひ、お気軽にご参加ください。

- 日時：5月29日、6月5日・12日・19日の全4回(各回とも木曜日)、午前10時10分～正午(開場午前10時)
- 会場：天白図書館第1集会室(天白区横町701)
- 講師：点字ボランティアグループ「みなづき会」
- 定員：30人(先着順) ■費用：無料
- 持参するもの：鉛筆、サインペン(油性)
- 申込方法：5月11日(日)午前10時から先着順で、天白図書館カウンターまたは電話にて受付※定員になり次第、締め切ります
- 問合せ先：天白図書館 TEL:803-4188 FAX:803-4190
- ※休館日：毎週月曜日、5月16日(金)
- ※土曜日、日曜日、祝日は午前10時～午後5時まで開館

#### ■ボーイスカウト募集

ボーイスカウトは、子どもたちの純粋な好奇心や探求心に応え、野外活動を中心に、いろいろなことを学びます。野外活動を通して、自然を学び、友情や協調性を育むことが中心です。ふだんは土曜日や日曜日などの休日に集まって、低学年のスカウトは工作やゲーム、歌、演劇などの活動。高学年は手旗やロープなどの練習、キャンプ生活の基本を勉強します。春休みや夏休みには長期キャンプがあります。

- 募集対象：幼稚園の年長から成人
- 活動場所：大堤池グラウンドを中心に天白区内やその郊外等
- 問合せ先：ボーイスカウト名古屋第78団 溜島(ためじま)  
TEL/FAX:875-7433 携帯:090-2922-8134  
E-mail: rsa38277@nifty.com  
virgo831@c.vodafone.ne.jp

### なこみスポット

#### 6万6千球の水仙が楽しめる「細口池公園」

細口池公園では、春になると桜や水仙の花が来る人の目を楽しませます。池を囲む遊歩道に沿って、黄色と白のじゅうたんのように植えられた水仙はおよそ6万6千球。八重咲きやラッパ咲きを中心にいくつもの品種がその美を競います。公園の近くにある学童保育や老人会の有志が、数年前から植え替え作業を進める中で、春の美しい景観を大切に守っています。その昔、細口池は山に囲まれていたそうです。また、以前は魚釣りができたそうですが、今は葦が茂り、



桃色の桜と黄色の水仙の彩りが美しい

渡り鳥の休息地となっています。春の訪れを自然豊かなこの公園で感じてみませんか？

住所：天白区中平4丁目  
TEL：803-6644  
(天白土木事務所)





# 介護のヒント お悩み相談



**Q.** 車いすの利用者を旅行に連れて行きたいのですが、何に注意したらいいでしょうか。

**A.** 宿泊地だけでなく、道中の情報も入手しておきましょう。

観光地ではバリアフリー化が進み、スロープやエレベーター、専用のトイレを設置するなど、車いすに配慮した設備が整えられています。宿泊施設を決める際には、車いすでの利用が可能か、前もって聞いてみるのが大切です。

車で出かける場合は、トイレ休憩をする場所を考慮しましょう。高速道路ではSA・PAともに障がい者専用トイレが設置されていますし、観光地に行く途中の道路には1時間半ごとにコンビニエンスストアもあり、トイレ休憩ができます。

いずれにしても、出発前に電話やインターネットなどであらゆる情報を入手することが、旅を楽しむものにする秘訣です。

**取材協力** 株式会社チックトラベルセンター(ハートTOハート) 障がい者・高齢者専門のツアーを企画・募集・実施。国内だけでなく、海外のツアーも豊富です。名古屋市中区錦1丁目20-19 名神ビル6階 TEL:052-222-7611 <http://www.tictravel.co.jp/>

答え

【一つ山住宅】

ここはどこ?



答えは一つ山住宅です。昭和30年代から宅地開発が進み、現在では一戸建て住宅や団地が立ち並ぶ住宅街となっています。公園もいくつか作られ、また、山のすそ野にあたる部分には商店が点在しています。



## 全国盲人写真展優秀賞受賞おめでとうございます!

### 「心眼」で写真を撮る

シバシバ ヨシハル 椎橋義春さん [植田在住]



働き盛りの時期に視覚障がい者となった椎橋さんですが、持ち前の負けん気と会社の社長の理解もあり、定年まで勤め上げました。右目は見えませんが、左目の視野の半分はくもりガラスを通して見ることが出来ます。定年後、若い頃から好きだった写真に



最優秀賞となった写真「花とたわむれる蝶」の前で奥様と

取り組み始め、昨年全国盲人写真展にて最優秀賞を受賞。この写真展の入賞作品は、立体コピー化(下写真参照)され、視覚障がい者も作品を楽しむことができます。「目が不自由なので、聴覚、触覚、嗅覚を総動員して心で写真を撮ります」と話す椎橋さん。モチーフは動物や自然、人物などですが、シャッターチャンスがくるまで何時間も待ち続けます。そうして時を過ごしながら環境に同化することで、絵になる瞬間が訪



写真を立体化させ、その凹凸に触れることで作品を鑑賞することができます

れるそうです。かたわらにいる奥様が、状況を逐一伝え、シャッターを押すタイミングを計る助けとなっています。お二人のコミュニケーションから生み出される数々の写真が、見る人の心をとらえています。



再スタートして1年!  
~こんな事あんな事してきました~

昨年、内部組織の見直しを行い、新たな気持ちで再出発した「ふれ愛ネット天白」は「つながり」をキーワードに3つの部会を作り活動を進めてきました。また、部会活動だけではなく、今年度23回目を迎えた「福祉区民のつどい」も区民まつりと同時開催し、地域の皆さんとのつながりも大切に育ててきました。

#### ◎ふれあい部会

6月に「顔合わせ会」と称して、ゲームを通じて気軽に交流できる企画をし、親睦を深めました。また、11月には、会員の家族や友だちとのつながりを深めるために「やみなべ交流会」を開催。持ち寄った材料で、お腹いっぱいになり、和やかに会話が弾みました。そして、今年3月には、車いすの人たちも楽しめるように、「風船バレー交流会」で楽しく汗を流すなど、会員同士のつながりを深める1年となりました。

#### ◎ふれ愛ネットPR部会

天白区社協情報紙「ばわわ」の編集に関わりながら、地域の皆さんにふれ愛ネット天白の活動を知ってもらうために、どのような事を載せたらよいか、四苦八苦ししながら原稿を書きました。また、ふれ愛ネット天白のちらしや参加団体の紹介冊子作りも行いました。

#### ◎災害弱者のためのネットワーク作り部会(略称:災害弱者部会)

ふれ愛ネット天白は福祉関係の施設が多く入会しているため、災害時に支援を必要とする災害弱者とのつながりを意識していくことが大切です。そこで、「防災」をキーワードに天白区内の団体・施設・個人がゆるやかに連携するきっかけ作りを模索してきました。ワークショップや話し合いを通して、部会内での計画づくりの意思疎通を行ってきました。



#### ふれ愛ネット天白...

障がい者関係団体や福祉施設及びボランティア団体等が中心になって「誰もが安心して暮らすことのできる天白区」を目指して活動しているネットワークです。

#### 問合せ先

「ふれ愛ネット天白」事務局  
(天白区社会福祉協議会内)  
TEL:809-5550



## 本年度も赤い羽根共同募金にご協力いただき 誠にありがとうございました!

平成19年度 赤い羽根共同募金実績額

**13,085,661円**

一般募金実績額.....12,772,948円

歳末募金実績額.....312,713円

今年度も区民の皆様から多くの募金をお寄せいただきました。赤い羽根共同募金は、愛知県共同募金会でとりまとめられ、約75%が天白区の地域福祉活動の向上に、約25%が愛知県下の民間社会福祉施設の充実等に役立てられます。今後とも共同募金にご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

#### 名古屋市天白区共同募金委員会

〒468-0015 原一丁目301 原ターミナルビル3階 天白区社会福祉協議会内  
TEL:809-5550 FAX:809-5551

※赤い羽根共同募金の使いみちなどの情報につきましては、ホームページ(<http://akaihane.or.jp>)をご覧ください。



ばわわ  
子育て日記

No. 16 「顛末記の保育園」からの旅立ち

覚えている方がいらっしゃるかもしれませんが、ばわわ第4号(2005年3月)に「保育園えらび顛末記」と題して娘の入園をめぐる出来事を記事にしました。そして早いものでこの春、卒園です。親の都合で決めた保育園なので、最初は娘が楽しめるか不安でした。しかし今となっては「楽しい園生活をありがとうございました!」という気持ちでいっぱいです。家庭ではどうしても感情的に怒ってしまい、娘が物陰で泣くということもありました。しかし、園では母親とは別の視点で諭してくださり、周囲の雰囲気を読めるよう

に成長させてもらえたようです。卒園は寂しいけれど、園で知り合ったお友だちとはこれからもずっと仲良しで、その上さらに新しい友だちが増える「喜び」への旅立ちです。おそらく娘は、新しい生活にマイペースで馴染むことと思います。親が不安がると気持ちは伝染してしまうので、「あなたなら大丈夫。あなたのことが一番好き!」の言葉がけと、ぎゅっと抱きしめることで、心を落ち着けていきましょう!(みとりん)



No. 8 大切にしまわれた過去の記憶

新しい施設へと異動する介護職員Yさんの送別会を職員で行いました。その途中、認知症のMさんが輪に入って来ました。何が行われているかMさんは興味津々。ある職員が説明すると、Mさんは「ふーん」と素気無いご様子です。拍手とともに花束が贈呈され、みんなの励ましの声がかげられる中、再度Mさんが輪に入って来ました。Mさんは、さっきの態度とは一変して、



「あなたがいないと寂しいよ」、「元気でね。しっかりね」、「何かあったら戻ってらっしゃい」と流暢にお別れの言葉をかけたのです。普段、会話のかみ合わないMさんから発せられたその言葉に、Yさんも涙を流し感動的な旅立ちとなりました。Mさんの家族には海外に住んでいる人が多く、見送ることが多かったため、Yさんを見送る今日の雰囲気、Mさんの過去の見送りの場面に呼び起こしたのです。記憶に障がいがある方でも、きっかけがあれば過去を思い出すことにつながります。皆さんも認知症の方の記憶に響く関わりを行ってみてください。それが認知症介護の第一歩です。(モカ)

たくさんのご応募ありがとうございました!

今回、その中から選りすぐりの8点を選ばせていただきました。

良き共とホタルの光に送られて 森瀬貞子さん

大人の旅立ちを祝う晴れ姿 平針友子さん

今日の話題「旅立ち」

愛娘はこの旅無事を祈りて母は待つ 二村さく江さん

旅立ちの日まで温まる親の膝 宮田ゆり子さん

うわしいよ温泉まわりの旅 守之助さん

発つ前に行って来ますと一言 ンゲノマサコさん

ほどほどの幸福姉妹旅にたつ 磯部登代子さん

旅に立つ鞆の上の春帽子 井上まさん

今日の話題「旅立ち」

太白の井戸端

太白区東部地域包括支援センターからのお知らせ  
「認知症の方を支える」

■家族教室(6回コース)

医師や施設の方をお招きします。認知症についての理解を深め、皆さんと悩みや体験を話し合いませんか?  
4/15、5/20、6/17、7/15、8/19、9/16(各回とも火曜日)

■認知症サポーター養成講座

認知症に関する分かりやすい講座を無料で提供します。数名以上でお申し込みいただければどこでも出張します。

お申込み・お問合せ先

太白区東部・西部包括支援センター  
TEL:809-5555(東部)、839-3663(西部)

第5回 てんぱく福祉のまちづくりシンポジウム

太白イチオシ福祉活動  
~そのヒントとアイデア~

日時:3月15日(土)  
午後1時30分~3時  
(開場午後1時)

場所:東海学園大学311教室  
定員:300名(入場無料・参加申込不要)

お問合せ先

太白区社会福祉協議会  
TEL:809-5550

善意の輪

次の方々より太白区社会福祉協議会にご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。太白区の地域福祉推進に有効に活用させていただきます。  
(平成19年11月1日から平成20年1月31日受付分 受付順)

- 名古屋を明るくする会太白グループ 様
- 株式会社 平安閣 様
- 株式会社 舞踊同好会 様
- 植田学区女性会 様
- 植田南学区女性会 様
- 近藤 勝子 様
- 阪ロメンテサービス 様
- 名古屋柳城短期大学 様
- 名古屋東伝道所(キリスト教会)ホームチャペルグレイス 様
- 高木 博彦 様
- 匿名 1件

仕事を辞めて帰ってきたムスメが、資格試験に挑むも断念、カウンセリングをようやく終了し、再就職に向けチャレンジしはじめました。真摯に生きる姿勢に私は惜しみない拍手を贈ります。旅立ち、再びの春。(母)

